

日本体育協会

総合型地域スポーツクラブ公式メールマガジン

このメールマガジンは、スポーツ振興くじ (toto) 助成金を受けて配信しています。

スポーツ振興くじ (toto) 助成金についてはこちらから
(日本スポーツ振興センター HP) <http://www.jpnsport.go.jp/>

このメールは本会 HP より登録された方々へ配信させていただいております。
配信停止設定は、メール後方のご案内をご確認ください。

現在の登録件数：4,990件



スポーツ振興くじ助成事業

INDEX

➤ 〈特別企画〉 [第6回]

[「総合型地域スポーツクラブ育成プラン2013」内容紹介](#)

➤ 〈特集〉若い世代がクラブ運営に参画しているクラブ

- ▶ [30歳代の男性スタッフが多いクラブ…情熱からの繋がり ～とうまスポーツクラブ～](#)
- ▶ [若い力で地域のスポーツ環境を変える! ～NPO法人ウィル大口スポーツクラブ～](#)
- ▶ [将来を見越して若い世代がクラブ運営を担っていく ～NPO法人クラブおおづ～](#)

➤ 〈連載〉東日本大震災被災地 応援情報

[岩手県内の総合型クラブの取り組み](#)

➤ 〈連載〉わがクラブの人気プログラム

[ボクササイズ教室 ～総合型スポーツクラブ TEAM たまぐすく～](#)

➤ 助成金情報

[申込締切：平成26年1月30日まで](#)

➤ お知らせ

- ▶ [クラブ運営お役立ちツール](#)
 - ◎自立・自律に向けたチェックリスト
 - ◎クラブのらくらく広報
- ▶ [公認スポーツ指導者資格情報](#)
 - ◎公認クラブマネジャー・公認アシスタントマネジャー資格の取得をおススメします!
- ▶ [セミナー等情報](#)
 - ◎〈開催報告!〉ブロック別クラブネットワークアクション2013
 - ◎総合型地域スポーツクラブ交流大会 in 徳島
 - ◎日本体育・スポーツ経営学会研究集会
 - ◎NPO法人クラブネッツセミナー「ドイツと日本におけるスポーツクラブの未来」
- ▶ [報告書等情報](#)
 - ◎「スポーツ指導者育成事業推進プラン2013」を公表!!
 - ◎「スポーツ指導者のための倫理ガイドライン」を策定!
 - ◎スポーツ指導者の資質能力向上のための有識者会議(タスクフォース)報告書について

▶ [「フェアプレイ」キャンペーン情報](#)

◎〈フェアプレイ宣言者、まもなく40,000名!〉公式Facebookをぜひチェックしてください!!

あくしゅ、あいさつ、ありがとう 「フェアプレイで日本を元気に」キャンペーン

<http://www.japan-sports.or.jp/Portals/0/data0/fair/>

公式Facebook : <https://www.facebook.com/JASA.fairplay>

2020年オリンピック・パラリンピックを日本で!

ご協力をよろしく申し上げます!

<http://tokyo2020.jp/jp/index.php>

(東京2020オリンピック・パラリンピック招致委員会HP)

〈特別企画〉[第6回] 「総合型地域スポーツクラブ育成プラン2013」内容紹介

日本体育協会では、今後概ね5年を目途とする総合型地域スポーツクラブ育成の取り組みについて、「総合型地域スポーツクラブ育成プラン2013(育成プラン2013)」として取りまとめ、昨年7月に公表しました。このことに関連して「育成プラン2013」を紹介する連載を行っています。

今回は連載第6回目として、「日本体育協会が取り組む各種支援方策」のうち「活動施設の確保」についてご紹介します。

http://www.japan-sports.or.jp/Portals/0/data/kurabuikusei/MailMagazine/H26/1.ikusei_plan_Vol.6.pdf

また、昨年11月10日付発行の本会情報誌「Sports Japan」に、育成プラン2013に関するインタビュー記事が掲載されました!

http://www.japan-sports.or.jp/Portals/0/data/kurabuikusei/MailMagazine/H25/11.ikusei_plan_interview.pdf

「育成プラン2013」の内容については、本会HP上に公開中ですので、ぜひご覧ください。

▶「総合型地域スポーツクラブ育成プラン2013」(全文)

http://www.japan-sports.or.jp/Portals/0/data/kurabuikusei/doc/club_ikusei_plan2013.pdf

▶「総合型地域スポーツクラブ育成プラン2013」について(本会HP)

<http://www.japan-sports.or.jp/local/tabid/394/Default.aspx>

若い世代がクラブ運営に参画しているクラブ

30歳代の男性スタッフが多いクラブ…情熱からの繋がり ～とうまスポーツクラブ～



ココに注目!

- ① キーパーソン（岡本大志さんと上野和香子さん）
- ② 30代の男性スタッフが多い理由
- ③ 元気が伝わるクラブ創り

1 キーパーソン（岡本委員長と上野事務局長）

■クラブづくりのきっかけ

とうまスポーツクラブの設立には、2人のキーパーソン（岡本大志委員長と上野和香子事務局長）がいます。事務局長である上野和香子さんは地域の柔道スポーツ少年団の指導者であり、オリンピックメダリストの母でもあります。岡本大志さんは、上野さんに柔道スポーツ少年団の練習に誘われたことがきっかけで柔道スポーツ少年団の指導者として活動しています。

5年程前、上野さんが総合型クラブのことを知り、当麻町でのクラブづくりを目指した際、岡本さんは上野さんの熱意を受けてともにクラブづくりに関わりました。

2 30代男性の運営スタッフが多い理由

■なぜ若い運営スタッフが多いのか？

設立準備委員会を立ち上げる段階で、上野事務局長以外の方々がほとんど30代でした。これは、ひとえに上野事務局長の人柄によるものだと思います。設立準備委員会が立ち上がった後、設立に向けて設立準備委員の口コミで新たに参加者を募ったところ、運営委員（スタッフ）の多くが30～40代となりました。

■世代交代について

現在、クラブには30～40歳代と比較的若い世代が多いのですが、10～20年の期間でスタッフの入れ替えを図っていかなければいけないと考えています。経験を積ませるためにも早い段階でのスタッフの入れ替えも必要です。

■次世代につなぐ

100年つづくクラブを目指すためには、経験豊かな世代から、新しい考えを持つ世代まで様々な意見が必要です。今のスタッフにこれから様々な方々を加え活動していきます。次の世代の夢をつなぐために、自分たちが夢をつないでいきます。

3 元気が伝わるクラブ創りに

クラブづくりに必要なものは、スタッフの熱意だと思います。スタッフそれぞれがクラブの理念を忘れることなく、それに向かう熱い気持ちを持っていれば、必ず人はついてきます。

最後に、このクラブには「楽しいからやろう!」と言い合う雰囲気常在りあります。会議でも一人一人の話を真剣に聞き、前向きに取り組む姿があるクラブです。地域のため、住民のためにたくさんの正しい汗をかいているクラブ! こんなクラブが増えるといいですね。

■クラブの今後

クラブライフの充実を図るために継続活動を増やし、さらに会員数を増やしたいと思います。また、スポーツ活

動の推進にあたる様々な関係機関と連携を深め、地域に根差したクラブ運営を目指していきたいです。現在、NPO法人化に向け動き出しており、さらなる飛躍に向け準備が始まっています。



(北海道クラブアドバイザー 久保田 智)

クラブプロフィール

設立年月日：平成25年3月6日

地域：北海道当麻町

運営：会員数90人

予算規模1,800,000円(平成25年度)

特徴：小規模ではあるが、地域の方誰もが楽しく参加できるスポーツクラブ。

連絡先：とうまスポーツクラブ 理事長 岡本大志

TEL：0166-84-2189 FAX：0166-84-2189

E-mail：tohma.sc2013@gmail.com

クラブHP：<http://tohma-sc.main.jp/>

[INDEXへ▲](#)

若い世代がクラブ運営に参画しているクラブ

若い力で地域のスポーツ環境を変える! ～ NPO 法人ウィル大口スポーツクラブ～

ココに注目!

- ① 事務局長の古田政一さん
- ② 20～30歳代のスタッフで運営!
- ③ 10年後のクラブビジョンとは?

1 事務局長の古田政一さん

NPO 法人ウィル大口スポーツクラブの事務局長である古田政一さんは、20歳代の頃、自身が社会人サッカー選手として活動する中で、自身の地域には子どもたちがスポーツする環境が整っていないことから、平成9年にサッカークラブを立ち上げ約200名の子どもたちを指導していました。

やがて地域で熱心に子どもたちを教えている姿が、行政の目に留まり総合型クラブ設立に向けた相談を受けたことをきっかけに平成14年にクラブを設立しました。活動当初から行政依存ではなく、民間の力で運営するという方針がクラブ側と行政側との間で共有されており、地域のプールやグラウンドの指定管理を受けながら、補助金や助成金などを受けずに運営しています。

2 20～30歳代のスタッフで運営!

クラブの特徴的な部分としては、21名いるクラブスタッフ(有給)全員が20～30歳代の若い世代である点です。彼らの多くは古田さんの後輩や教え子たちです。地域のクラブで育った子どもたちがやがてクラブの指導者として帰ってくるという形が出来上がっています。

一方で、若者が「仕事」として総合型クラブで雇用するという事は、容易なことではなく、スタッフの入れ替わりが多い現状があるそうです。古田さんは、「クラブで働く(雇用する)」ということ、若者にとってより魅力的にしていけることが今後の課題の1つであると語っています。

3 10年後のクラブビジョンとは?

平成14年にクラブが設立されて約10年間。この10年を振り返ると、設立当初、地域には子どもたちがスポーツできる環境がほとんど整備されておらず、スポーツをしたい子どもは近隣市町へ出向いていくしかありませんでした。それが、クラブが中心となって地域の子供たちにスポーツする機会を提供し続けた結果、多くの子どもたちが地域でスポーツする姿を見ることができます。また、地域の小・中学校の運動部活動では、クラブで育った子どもたちの活躍で県大会や地区ブロック大会へ進出する部活動も出てきており、スポーツの「普及」という観点では、一定の成果があったと古田さんは感じています。

今後の10年間に向けては、より良いスポーツ環境の整備と優秀なスポーツ選手の輩出、そして高齢者向けの事業の充実を図っていききたいと語っていました。

設立年月日：平成14年4月（平成15年5月NPO法人格取得）

地 域：愛知県丹羽郡大口町

運 営：会員数 2,300名（平成25年度）
予算規模 2億円（平成25年度）

特 徴：子どもを対象とした種目を中心に、若い世代のスタッフが活躍しているクラブ

連 絡 先：NPO法人ウィル大口スポーツクラブ事務局

TEL・FAX：0587-95-1313

E-mail：

クラブHP：<http://www.will-oguchi.com/>

若い世代がクラブ運営に参画しているクラブ

将来を見越して若い世代がクラブ運営を担っていく
～ NPO 法人クラブおおづ～



ココに注目!

- ① クラブマネジャーの齋藤陽子さん
- ② 世代交代を図り、若い世代でクラブ運営!
- ③ 「地域コミュニティ」=「町のチカラ」

1 クラブマネジャーの齋藤陽子さん

「NPO 法人クラブおおづ」のクラブマネジャーである齋藤陽子さんが、総合型クラブに関わりを持ったのは、自身の地元である大津町で平成 15 年に総合型クラブが設立されたことがきっかけです。齋藤さんは、小学生の頃から町の体育協会が主催する水泳教室に通い、将来はスポーツ指導者として、特に高齢者の健康づくりに取り組みたいと考えていたとき、「総合型クラブ」が果たすことのできる役割（地域コミュニティづくりの機能など）に関心を抱き、クラブに関わりました。

当初は、ボランティアスタッフとしてクラブに関わっていましたが、自身のスキル向上を目指し、民間フィットネスクラブでの勤務などを経て、平成 23 年に常勤のクラブマネジャーとして働き始めました。

2 若い世代をクラブに巻き込む!

クラブは設立当初、60 歳代の方々が中心となり運営されていましたが、齋藤さんは年々変化していく地域の状況を踏まえると、若い世代がクラブ運営に関わる必要性を感じていました。そこで、クラブで活動している子どもたちの保護者に対して、声掛けを実施し、現在では、30～40 歳代の方々がクラブ運営に関わってきています。一方で、これまで中心に活動されてきた 60 歳代の方々には、若い世代では持っていない地域の他団体とのネットワークを持っていることから、まだまだ頑張ってもらっています。齋藤さんは若い世代とベテラン世代の調整役として奮闘しています。

3 「地域コミュニティ」=「町のチカラ」

齋藤さんに総合型クラブで働くやりがいについて伺ったところ「クラブおおづの活動から生まれる地域コミュニティには、無限の可能性があると思う。そこにクラブの魅力を感じている」と答えました。総合型クラブは、スポーツを通じて、地域で人と人をつなぐことができたり、地域の問題・課題の解決に貢献できる、そういった可能性を信じているからこそクラブで頑張れるということでした。

また、クラブおおづでは新しい世代の発掘にも取り組んでおり、今年（平成 26 年）の 4 月からは、クラブで育った人材をクラブの職員として雇用することになりました。齋藤さんは、「将来、地域の子供達が『クラブおおづのマネジャーになりたい』と夢を抱いてくれるような活動を展開していきたい」と語っていました。



設立年月日：平成15年4月27日（平成20年9月1日NPO法人格取得）

地 域：熊本県菊池郡大津町

運 営：会員数 464名

予算規模 約1,000万円（平成24年度）

特 徴：子どもたちにスポーツの機会提供を目的に設立され、現在では多世代にわたりスポーツ活動を提供している。

連 絡 先：NPO法人クラブおおづ事務局

TEL・FAX：096-294-2922

E-mail：clubozu150427@yahoo.co.jp

クラブHP：<http://clubozu.com/concept.html>

岩手県内の総合型クラブの取り組み

Q1 岩手県内にある総合型クラブの活動状況について、直近1年間でどのような変化がありましたか？

A. クラブ活動の再開や会員数が復調されてきました。

平成24年度まで	平成25年度から
○沿岸地域で新たに総合型クラブが設立されました(4クラブ)。	○toto助成事業等を活用して本格的な活動再開を行っているクラブが増えています。
○クラブが単独で事業を実施していました。	○関係機関と連携した事業展開や事業の多様化が見られてきました。
○震災による倒壊等により活動場所が限られていました(施設がない)。	○同様(27年度以降に施設が建設されていく計画です)
○震災に伴い会員数が減少していました。	○震災以前の会員数に復調しています。

Q2 岩手県内で支援活動を行っている総合型クラブや岩手県外から支援活動を行っている総合型クラブ等について、直近1年間でどのような変化がありましたか？(支援内容の変化等)

A. 交流事業等の人的な支援が継続されています。

平成24年度まで	平成25年度から
○被災地のクラブ(特に沿岸部のクラブ)が県内外の地域を訪問しての交流事業を行っていました。	○被災地のクラブがクラブの地元県内外のクラブ等を受け入れての交流事業が行われています。
○金銭的な支援(義援金等)や物資の支援が主でした。	○金銭的な支援はなくなり、交流事業等の人的な支援が継続されています。

Q3 岩手県内の被災地や総合型クラブが復興していくために、今後求められることは何でしょうか？

A. 再開した事業の継続や仮設住宅を出られた方々への支援活動が必要です。

平成24年度まで	平成25年度から
○「応急仮設住宅」や「見なし仮設」に居住している方々への支援活動を行っていました。	○仮設住宅を出られた方々に対する支援活動が必要です。
○停滞していた事業の再開を行っていました。	○再開した事業の継続や地域住民のニーズ・参加者の掘り起こしが必要です。
○人が集う場づくりを行っていました。	○人が集う場づくりから「地域コミュニティ」づくりへと発展させる必要があります。
○体を動かす機会の提供を行っていました。	○体を動かす機会の提供を継続するとともに、体力低下等の課題に取り組む必要があります。



(岩手県クラブアドバイザー 伊藤 啓太)

[INDEXへ▲](#)

ボクササイズ教室

(総合型スポーツクラブTEAMたまぐすく)

1 プログラム概要

- 実施頻度：第2・第4水曜日 10：30～12：00
：第2・第4金曜日 20：00～21：30
- 場 所：ウェルネスリゾート南城(スポーツ棟)
- 参加者層：20代～60代(女性限定)
- 定 員：10名～15名
- 参 加 料：1,000/月(保険料は別途徴収)
- 経 費 面：施設使用料 1,500円/回
- 運営人数：指導者1名、助手2名(内1名は受付・安全管理を行う)
- 工 夫 点：ボクササイズを通して、参加者同士のつながりやコミュニティを促進することを目指しています。



2 人気プログラムである秘訣

■きっかけ

クラブマネジャーの金城道年・真弓夫妻は、地域におけるスポーツ活動の実態調査を行う中で、子育て中の主婦をはじめとする女性を対象とした活動がないことに注目し、ストレス発散につながるボクササイズ教室を開設しました。

■教室開設に向けて

対象者となる主婦層へPRをするため、夕方に主婦が集まるスーパーマーケットの空き施設を活用したワンコイン体験会や新聞の無料広告欄を活用し、広報活動を実施しました。

■活動状況

現在は10～15名程の参加者があります。参加者の1/3は教室開設当初から参加しているリピーターで3年間も継続しています。ボクササイズを通して、参加者の体のキレやフォームも良くなり、美しい体型づくりや健康づくりに役立っています。さらに、参加者同士のコミュニケーションが活発になり、クラブ主催イベントにボランティアスタッフとして関わる方や、参加者同士でマラソン大会に出場する計画が出るなど仲間意識が向上しています。また、参加者自ら知人への紹介や勧誘を行ってくれることもあります。

■人気の秘訣

参加者同士が気軽に会話ができるアットホームな雰囲気をつくれたことが人気の秘訣だと思います。金城道年さんは指導者に必要なスキルとして「スポーツ指導ができるだけでなく、会場にいる人が活動を通して気兼ねなく会話できる雰囲気づくりやコミュニケーションを図れる環境づくりを行うことが大切だ」と言います。雰囲気づくりのポイントとして、パンチンググローブ等の機材を女性好みの可愛いデザインやカラーにしたり、清潔感(特に臭いの防止)を意識しています。教室後は機材の消臭ケアを入念に行っています。

■プログラムの今後の展望

現在、スポーツ振興くじ (toto) 助成金を活用して実施されていますが、今後の自主・自律に向けて会費設定の見直しとともに、教室参加者からの指導者育成や、参加対象の拡大 (特に中学生・高校生) を目指しています。

(沖縄県クラブアドバイザー 座間味 洋貴)

クラブプロフィール

設 立：平成 25 年 3 月 10 日
地 域：沖縄県南城市玉城 (4 町村が平成 17 年に合併している)
運 営：会員数 100 名
 予算規模 320 万円 (toto 助成金含む)
特 徴：新たな地域コミュニティづくりを目指してスポーツ活動や食育講座などを取り入れ、幅広い年齢層や、スポーツが苦手な方でも参加ができる活動を推進しています。また、参加者が主体となって元気で積極的なクラブ運営を目指しています。
連 絡 先：〒901-0605 南城氏玉城字中山 510 番地
 TEL：090-3790-8158 FAX：098-949-1118
 E-mail：totalpro2010@gmail.com

[INDEXへ▲](#)

助成金情報

申込締切：平成26年1月30日まで

- ▶ 第13次「災害ボランティア・NPO活動サポート募金」助成事業(赤い羽根共同募金)

[1月24日(金)当日必着]

<http://www.akaihane.or.jp/er/p6.html>

- ▶ 第4回 夢屋基金(公益財団法人公益推進協会)

[1月30日(木)当日消印有効]

<http://kosuikyo.com/1248-2>

[INDEXへ▲](#)

お知らせ

◆ クラブ運営お役立ちツール ◆

日本体育協会では、総合型クラブで活動される方を対象に、より充実したクラブ運営の一助となるよう2つのツールを作成しています。

《クラブ運営の自己評価・点検ツール》

- ▶ 「自立・自律に向けたチェックリスト」

<http://www.japan-sports.or.jp/publish/local/tabid/936/Default.aspx#02>

《クラブ運営の広報活動ツール》

- ▶ 「クラブのらくらく広報」

<http://www.japan-sports.or.jp/publish/local/tabid/936/Default.aspx#01>

◆ 公認スポーツ指導者資格情報 ◆

◎公認クラブマネジャー・公認アシスタントマネジャー資格の取得をおススメします！

日本体育協会では、クラブ業務を合理的に行い、効果的な事業計画を企画・立案する上で必要となる一定以上の専門的な知識・技能を身に付けた人材を充実させるため、「公認クラブマネジメント資格」講習会を実施しています。

公認クラブマネジメント資格には、クラブ運営を中心的に担う方を想定した「公認クラブマネジャー」と、クラブマネジャーとともにクラブ運営を補佐する方を想定した「公認アシスタントマネジャー」の2つの資格があります。

ご自身のクラブの自立・自律に向けて、ぜひ本会公認クラブマネジメント資格を取得してみませんか。

詳しい資格内容や講習会情報についてはこちらから

- ▶ クラブマネジャー

<http://www.japan-sports.or.jp/coach/tabid/221/Default.aspx>

※平成25年度の養成講習会については、すでに申込みを終了しています。なお、平成26年度の養成講習会については、平成26年4月頃に申込み受付を開始する予定です。

- ▶ アシスタントマネジャー

<http://www.japan-sports.or.jp/coach/tabid/220/Default.aspx>

※養成講習会の日時・会場等については、各実施団体に直接ご確認ください。

◆ セミナー等情報 ◆

◎<開催報告!>ブロック別クラブネットワークアクション2013

本事業は、地域スポーツクラブ関係者が抱える課題を解決する糸口を探るための情報の共有化や、クラブ育成支援のためのネットワークの強化を図ることなどを目的として全国9ブロックにて開催されました!

現在、北海道・東北・関東・東海・中国・四国・九州ブロックの開催報告を公表していますので、ぜひご覧ください!

<http://www.japan-sports.or.jp/local/tabid/508/Default.aspx>

◎総合型地域スポーツクラブ交流大会 in 徳島

徳島県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会では、総合型クラブ間の交流を目的にソフトバレーボール大会を開催します。

全国の総合型クラブが対象となっており、交流パーティー等もありますので、総合型クラブ間のネットワーク構築のためにぜひご参加ください。

日 時：平成26年3月1日(土)

①クラブのプログラム体験

②ソフトバレーボール交流練習会

③交流パーティー

平成26年3月2日(日)

ソフトバレーボール交流大会

場 所：徳島県鳴門市・徳島市 他

参 加 費：交流パーティー 6,000円/1人

交流大会 3,000円/1チーム、(個人参加の場合1,000円/1人)

※参加をご希望の方は、所属都道府県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会事務局へお問合せください。

◎日本体育・スポーツ経営学会研究集会

日本体育・スポーツ経営学会では「子どもとスポーツ」や「総合型クラブ」をテーマに研究集会を開催します。

スポーツを経営的な視点で捉え、子育て環境づくりや良いクラブの条件などについて考える機会となりますので、興味のある方はぜひご参加ください。

○第47回研究集会 「地域スポーツクラブの成長モデルと評価指標を考える」

日 時：平成26年1月25日(土) 13:00~17:30

会 場：筑波大学東京キャンパス文教校舎134教室

定 員：200名

参 加 費：一般会員 2,000円、学生会員 1,000円、非会員社会人 3,000円、非会員学生 2,000円

▶ 申込みなど詳細はこちらから

<http://www.jsmpes.jp/>

◎NPO法人クラブネッツセミナー「ドイツと日本におけるスポーツクラブの未来」

NPO法人クラブネッツでは、地域スポーツクラブ先進国であるドイツからスポーツクラブ関係者を招き、日本のスポーツクラブが目指すべき将来像について考えるセミナーを開催します。

スポーツを通じた地域づくりや市民活動の活性化を目指す方はぜひご参加ください。

日 時：平成26年3月15日(土) 10:20～16:40 ※17:00～19:00 懇親会
場 所：日本大学文理学部 百周年記念館 国際会議場
参 加 費：6,000円
懇親会費：3,000円
申込締切：平成26年2月28日(金)

▶ 申込みなど詳細はこちらから

<http://www.clubnetz.or.jp/?p=1611>

◆ 報告書等情報 ◆

◎「スポーツ指導者育成事業推進プラン2013」を公表!!

日本体育協会では、スポーツ指導者育成事業の今後概ね5年間の方針を示した「スポーツ指導者育成事業推進プラン2013」を公表しました。

これは本会が目指す「スポーツ立国の実現」のため、スポーツ指導者のさらなる量的拡大と質的向上を目的とするものです。本プランでは有資格指導者の拡充など4つの基本方針とそれに基づく重点施策を策定し、施策ごとに数値目標を設定しました。

本会では今後、プランに示された目標の達成を通して、望ましい社会の実現に貢献するため各種施策を推進していきます。

本プランの内容については、本会HP上に公開中ですので、ぜひご覧ください。

▶ 「スポーツ指導者育成事業推進プラン2013 『スポーツ立国の実現』に向けて-」(全文)

<http://www.japan-sports.or.jp/Portals/0/data/katsudousuishin/doc/plan01.pdf>

▶ 本会が現在実施しているスポーツ指導者育成事業について

<http://www.japan-sports.or.jp/coach/tabid/63/Default.aspx>

◎「スポーツ指導者のための倫理ガイドライン」を策定!

スポーツの意義や価値が改めて問われている昨今、日本体育協会では、スポーツ指導者の望ましい考え方や行動についてガイドラインを策定しました。

本ガイドラインでは「スポーツの価値」「プレーヤーズファースト」「フェアプレー」の視点から、安全で、正しく、楽しいスポーツ活動をサポートするためのプレーヤーと指導者の望ましい関係づくりについて解説しています。

また、暴力やハラスメントなどの反倫理的行為が起きる背景や影響、指導者としての注意点なども網羅しています。

総合型クラブの現場で活動されているスポーツ指導者をはじめ、運営スタッフやクラブ会員の保護者などスポーツに関わる皆さまに読んでいただき、本ガイドラインの趣旨を共有することで、スポーツ界から反倫理的行為を根絶するための一助となれば幸いです。

▶ 「スポーツ指導者のための倫理ガイドライン」

<http://www.japan-sports.or.jp/publish/tabid/677/Default.aspx#book06>

◎スポーツ指導者の資質能力向上のための有識者会議(タスクフォース) 報告書について

文部科学省では、スポーツ指導において暴力を行使する事案が明らかになったことを受け、「スポーツ指導者の資質能力向上のための有識者会議(タスクフォース)」を設置し「新しい時代にふさわしいスポーツの指導法」のあり方に

ついて検討を行ってきました。

このたび、本タスクフォースの報告書がまとまり、公表されました。

我が国のスポーツ指導の場から今後、暴力が一掃されるよう、皆さまのご協力をお願いします。

▶ スポーツ指導者の資質能力向上のための有識者会議(タスクフォース) 報告書

http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/sports/017/toushin/1337250.htm

また、本報告書については書籍としても販売されておりますので、ぜひお買い求めください。

▶ 私たちは未来から「スポーツ」を託されている新しい時代にふさわしいコーチング

http://www.mext.go.jp/b_menu/shuppan/sonota/detail/1341273.htm

◆ 「フェアプレイ」キャンペーン情報 ◆

◎<フェアプレイ宣言者、まもなく40,000名!>公式Facebookをぜひチェックしてください!!

日本体育協会では、社会におけるスポーツの価値をより高めていくこと、スポーツ界を中心に「フェアプレイ」を社会全体に浸透させ、日本を元気にしていくことを目的に「フェアプレイで日本を元気に」キャンペーンを実施中です。

多くの総合型クラブ関係者の方々にもフェアプレイ宣言していただき、まもなくフェアプレイ宣言者が40,000名となります!

また、本キャンペーンの公式Facebookも公開中です。本Facebookページでは、本キャンペーンのイメージキャラクターの正々くん、堂々ちゃんが本キャンペーンを広めるために、日々情報を更新しています!

Facebookをご利用の方は、ぜひ本Facebookページにアクセスいただき、「いいね!」や「シェア」を押していただくなど、本キャンペーンのPRにご協力をお願いします。

▶ 「フェアプレイで日本を元気に」キャンペーン公式Facebook

<https://www.facebook.com/JASA.fairplay>

▶ フェアプレイ宣言など、詳しくはこちらから

<http://www.japan-sports.or.jp/Portals/0/data0/fair/>

●公式メールマガジンへの登録をおススメください!

公式メールマガジンをご愛読いただき、ありがとうございます。

おかげさまで、現在約4,900の登録をいただいております。

このメールマガジンは、総合型クラブに少しでも関心のある方には、どなたでも無料でお送りしています。

ぜひ周りの方にも本メールマガジンをおススメください!

【登録方法】

- 1) 日本体育協会HPのトップページの中央にある「総合型地域スポーツクラブ」をクリック
- 2) 下段の「メールマガジン」をクリック
- 3) 「登録・退会」をクリック
- 4) 「登録する」をクリック
- 5) 登録フォームに、お持ちのメールアドレスを入力(2回)
- 6) 登録確認画面へ(完了)

▶ メールマガジンの登録(無料)・配信停止(退会)

<http://www.japan-sports.or.jp/local/tabid/516/Default.aspx>

※メールアドレスを変更される場合は、上記ページで一度退会手続きをした後、再度登録手続きを行ってください。

[INDEXへ▲](#)